

おおとり通信

八戸市立図南小学校
学校だより
平成28年度第8号
H28.12.1 発行

生きる力 『早寝早起き、朝ご飯』

ここ数年で、長生きのひみつが医学的に解明されてきています。早寝早起きはホルモンの分泌、朝ご飯は血糖値の調整にとって大事な役割があるそうです。子どものうちに身に付けさせておきましょう。

来月の予定

1月

日曜	行事
	冬季休業 12/23~1/15
10 火	学校納入金引落日
16 月	3学期始業式 (5時間授業)
17 火	体位測定 4. 5. 6年生6時間授業
18 水	
19 木	
20 金	休み明け漢字テスト
21 土	
22 日	
23 月	
24 火	休み明け計算テスト 委員会活動
25 水	
26 木	お話タイム
27 金	
28 土	
29 日	
30 月	到達度テスト(国・理)
31 火	到達度テスト(算・社) 委員会活動



目に見えないものこそ真実

校長 馬場悦子

1897年ニューヨークのある少女が「ニューヨーク・サン」という新聞社に手紙を書きました。「私は8歳です。サンタクロースなんていないと友達は言います。サン新聞に書いているなら本当のことだとパパが言っています。ほんとうのことを教えてください。サンタクロースはいるのですか？」

ニューヨーク・サン新聞社は、この手紙に社説で答えました。

「Yes, Virginia, there is a Santa Claus. (そうです、バージニア。サンタクロースはいるのです。)」 「私たち人間が把握できる知識や真実はただの虫ほども小さい、その小さな知力で見たものだけを信じるなら、この世界は全く喜びのないものになってしまう。愛や思いやりやひたむきな心というものがあるように、サンタクロースも存在している。信じる心、想像力、子どもらしい心、詩、愛、ロマンス、この目に見えないものこそが不変であり真実であるのだ。」(要旨)

これはたいへん有名な話で、日本では『サンタクロースっているんでしょうか』(偕成社 訳:中村妙子)という本が出されている程です。単にサンタクロースがいるかどうかではなく、大事なものは何かということ子どもに伝えられます。冬休みに親子で読んでみませんか。(残念、学校には見当たりません。)

子どもの頃、枕元に靴下を下げた眠りについたあの幸せな夜は、確かに子どもならではの想像力、信じる心がもたらした真実でありました。美しく、気高く、輝かしい世界を見せてくれる想像力をもっている人にはサンタクロースが見えるのでしょう。特に子ども時代は。それは同時に、他人の苦しみ、悲しみ、愛しみを理解できる思いやりのある人にちがいません。

成長とは、学問においても生活においても、目に見えないものが見えるようになることです。

目に見えないものこそ真実。年末年始、ご家族そろってお子様想像力、信じる心、愛を育むチャンスです。今後とも子どもたちが心豊かに健やかに成長してほしいと願います。

マラソン記録会

朝マラソンは、4月から11月まで、毎朝7時40分から10分間校庭を走ります。取り組み方は子どもによってまちまちですが、毎日続けると自信になるので、全校児童が走った周数をカードに記入しています。



【4年生男子、スタート！】

その成果を確かめるべく、11月4日に校内マラソン記録会を行いました。残念ながら体調が悪くて参加できない子もいましたが、参加した子どもたちは全員完走しました。また、記録会前に自主的に練習している子もいて、めあてに向かってチャレンジする気持ちがすばらしいと思いました。保護者の皆様ご声援ありがとうございました。

11月中旬より、同じ7時40分から体育館でいろいろな基本運動を行っています。子どもたちは元気に体育館に向かい、上級生を見習って運動しています。寒くなるとなかなか外で遊べなくなりますので、できるだけ間に合う時間に登校し、体を鍛えてほしいと思います。

入賞おめでとう!

- ▶保健に関するポスターコンクール
 - 【銅賞】1年 さかした
 - 【佳作】1年 なりた
- ▶第45回八戸市児童生徒発明工夫展
 - 【銅賞】「シャボンほう」 4年 村越
 - 【奨励賞】「皿ふきスタンド」 5年 工藤
 - 「一石四鳥弁当箱」 6年 村越
- ▶社会科自由研究
 - 【優良賞】6年 出口
- ▶第59回市内児童生徒納税貯蓄作品コンクール
 - 【習字の部】特選 1年 森
- ▶夏休み子どもミニ作文コンクールぬりえの部
 - 【第一生命優秀賞】 2年 小田
- ▶ヤサカ杯争奪第50回八戸市小学校卓球大会
 - 【4年生以下シングル】第1位 3年 馬場
- ▶第4回三八五交通旗争奪さわやか少年サッカー大会
 - 【最優秀選手賞】 6年 岩館
- ▶第1回八戸ライオンズ杯サッカー大会
 - 第3位 図南SSS



JS交流会・中学校訪問

小中連携事業の一環として、11月16日に本校で授業参観と情報交換会が行われました。長者中学区の先生方が集まって、長者中学区みんなで取り組む課題である

- ① 話をよく聞き、正しく活動できる。
- ② 自分に自信を持ち、行動ができる。

の二つについて各校の様子を話し合いました。

また、25日には、本校と長者小学校の6年生が長者中学校を訪問し中学校生活を体験しました。子どもたちは、「中学生になったら…」というイメージが具体的に持てたのではないのでしょうか。

6年生が小学校に登校するのはあと60日足らずです。進学に向けてどんな自分になりたいかイメージし、これからの一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。